

# 千葉動力車労働組合



## 業務移管、強制配転、組織破壊をはねかえし

# 津田沼支部新役員を確立!

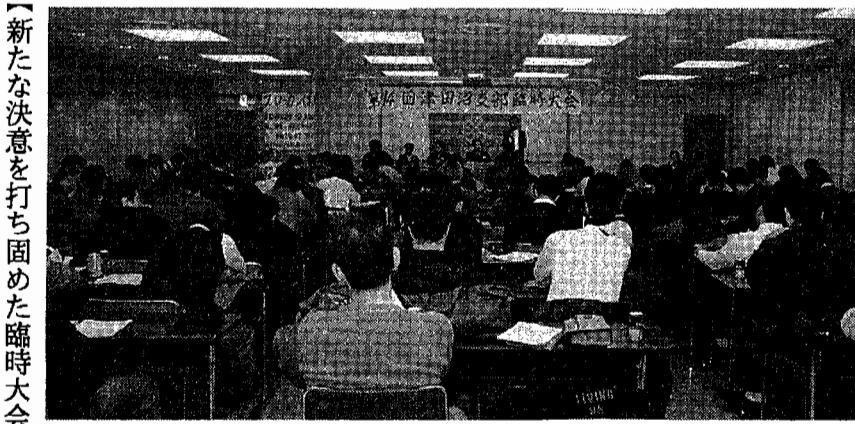
## 「ダイ改」強行へ抗議の 第二波ストを貫徹

九一・三ダイ改合理化―業務移管攻撃粉碎第二波ストライキは、スト対象の津田沼支部、駅強制配転者、幕張・木更津両支部執行部が、正午をもって、整然と突入した。そして十四時半から津田沼支部第十四回臨時大会

を圧倒的にかちとり、山田邦夫新支部長をはじめとした新執行部を選出した。さらに千葉駅前で大街頭宣伝を行い、十八時から千葉市民会館・小ホールに三百十名の結集で総決起集会を開催した。

津田沼支部第一四回臨時大会は、三月十五日午後十四時半から、千葉市文化センター・セミナー室で開催された。大会には津田沼支部組合員をはじめ、ストに参加した駅へ強制配転され

た仲間や検修の仲間、さらには各支部の傍聴者など百五十名の組合員が参加し、組織破壊攻撃をはねかえしてかちとられた。大会は、古川副支部長の開会のあいさつではじめられ、議長に岩瀬利幸君を選出した。冒頭に津田沼支部は、本日、第二波ストライキに決起した。当局は



【新たな決意を打ち固めた臨時大会】

### 津田沼支部新役員体制

支部長	山田 邦夫	運転士
副支部長	菅谷 修	"
書記長	石渡 英夫	車技係
執行委員	荘司 仁	運転士
"	鈴木 文男	"
"	齊藤 市郎	"
"	石井 茂夫	"
"	結城 敏之	車両係
"	大河原 洋	事務主
特別	浜野 善弘	営業係
特別	福島 勝之	運転士
会計監査	内山 敏光	"
"	齊藤 守秀	車両係

支部破壊にのりだし、支部運転士の三十四名中二十名の配転をあす強行せんとしている。この怒りを闘いへと変えていこう。『習志野運輸区化』はJR総連の車掌を四十五名入れ、JR総連を『多数派』にして、ストもうてない運輸区化にねらいがある。

津田沼支部は、今まで原則的に闘いぬいてきた。今大会で新執行部を確立し、さらに闘いぬく」と力強い決意表明がなされた。

つづいて、本部を代表してあいさつに立った田中書記長は、「① 正午をもって突入した。ストは、この間の国鉄労働者の怒りの体現である。

② 動労千葉の運転士の七割が強制配転、この攻撃で『動労千葉をつぶすには、津田沼を破壊する以外にない』ことが明白となった。これはJR体制「当局・革マルの結託が断崖絶壁に立たされている表れだ。西日本を見よ、JR総連は必ず崩壊する。③ 津田沼支部は、船橋事故闘争をはじめ、つねに闘いの先頭

に立ち、十二名の解雇にもゆるぎなく、必ず反撃に立ちあがった。今日の闘いを出発点に全組合員の総力で闘おう。

と、動労千葉の決意を述べた。つづいて、執行部より経過報告・運動方針が提起されたのち、スト支援にかけつけた全支部代表者より連帯のあいさつがなされた。

最後に新役員が選出され、全員が登壇するなか、新役員を代表して山田新支部長より「経験の浅い新役員ではあるが、支部執行部は皆さんとともに、全力で闘う」と決意をこめたあいさつがされ、いかなる支部破壊攻撃にも屈せず、闘うことを高らかに宣言した。

JR当局―JR総連一体となつた業務移管、強制配転、津田沼支部解体攻撃を、津田沼支部の即座の反撃―新執行体制の確立によって、その狙いは粉々に打ち砕かれた。ダイ改強行を許さず、二波のストライキを闘った成果と地平の上に立って、諸要求の実現とJR体制の打倒にむけてさらに闘いぬこう。

### 九一・三ダイ改強行を弾劾する

JR当局は、本日九一・三ダイ改を一方的に実施した。われわれは、この強行実施を怒りをこめて弾劾する。

JR当局は、団体交渉を形式的には行うだけで、その最初から最後まで一貫して回答を変えなかった。さらにストを対置して要求の実現を求めても、スト対策に奔走するだけで、真剣にスト回避の努力を行おうとすらしなかった。また、われわれの切実な要求さえも一顧だにできなかった。われわれは、ここまで硬直しきつたJR体制を許すことはできない。諸要求の実現、運転保安の確立にむけて、今次ダイ改の闘いを教訓に、さらに闘いに立ち上がる。